

100年前の久留米に タイムスリップ

「絵葉書で旅する近代久留米」

会期…令和6年7月13日（土）

～9月8日（日）



高良山の名所を紹介する絵葉書の数々

明治時代後期から盛んにつくられた絵葉書には、記念絵葉書や名所絵葉書など、様々なものがあります。久留米市においても多くの絵葉書が発行されました。

明治22年（1889）に、日本一小さな市として誕生した久留米市は、軍隊の誘致、地場産業の育成などによって経済振興に取り組んでき

ました。その結果、軍関係施設をはじめとした市内の名所・旧跡をめぐる観光客が増え、それらを観光スポットとして紹介した観光地図や絵葉書などがつくられるようになりました。その多くは今でも久留米を代表する観光スポットです。

本展では、久留米市が所蔵する絵葉書の中から、明治・大正・昭和初期に発行された久留米市ゆかりの絵葉書約250点を展示しました。あわせて、絵葉書に採用された19地点の現在の様子を、比較できるような写真パネルで掲示しました。

期間中「キーワードクイズ」を実施しました。大人も子どももクイズ



会場正面からの様子

を片手に会場内をあちこちと歩き回って絵葉書を鑑賞していました。

また、来場者からは、「昔の久留米の建築物など見られて興味深かった」、「絵葉書で町の歴史をたどる企画がとても良い」など昔の久留米に思いを馳せる姿や、「昔の久留米と今の久留米の様子を比べられるのもおもしろく感じました。（中略）今回見た絵葉書のことを思い出しつつ行ってみようと思います」、「クイズがあることで、よりじっくり絵葉書を見ることができた」などの感想を聞くことができ、来場者がそれぞれの楽しみ方を発見した展示となりました。



絵葉書の内容と関連する資料や写真をパネルでも紹介した

南北朝・菊池一族 イラストパネル展

会期…令和6年9月13日（金）

～9月29日（日）

久留米市が加盟する南北朝・菊池一族歴史街道推進連絡協議会の啓発活動として開催したものです。主だった武将たちのイラストで人物や事柄を解説、菊池氏3代や本市ゆかりの懐良親王の自立式大型パネルも登場しました。

くるめの考古資料展 「石室を彩る原始絵画」

会期…令和6年10月5日（土）

～11月24日（日）

筑後川流域に分布する装飾古墳について、発掘調査による出土品や写真パネルを通して紹介しました。

久留米市指定文化財「横矧板鋌留短甲」^{よこはぎいたびようどめたんこう}「隈山2号墳出土の山柵玉」^{くまやま2ごうふんしゅたのさんさくたま}などの実物を展示公開するとともに、令和6年10月11日付けで国指定史跡「田主丸古墳群」に追加指定されたばかりの益生田古墳群^{ますおだ}について発掘調査の最新成果を詳しく解説しました。